

柘植地域

まちづくりだより

第296号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



発行日

〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
2023(令和5)年九月一日(金)

柘植地域俳句コーナー
夕日射す

厨にきざむ

花茗荷

中西 澄子

【地元企業訪問】 開始しました

柘植地域まちづくり協議会・宮田会長が『まちづくりの重要テーマ』として掲げる「地元企業との連携」を強化。企業が持つノウハウを活用し災害対策等への対応を図る一環として今年4社を表敬訪問しました。

8月9日、(株)日本サンガリアベバレッジカンパニー・柘植工場/吉田幸雄工場長と面談(左から二人目/手前は浦中祐揮氏)訪問者は、宮田会長、下町・土屋区長、倉部・梅川区長、センター長・清水の4名にてお伺い致しました。

同社柘植工場には60名の方が3交代勤務されて居り、大阪の喫茶店が出るミックスジュースの味わいを再現させた開発商品『みつくちゅじゅーちゅ』等を製造。オレンジりんご・パイナップル・もも・バナナの5種類の果汁をバランス良くブレンド、まろやかな味わいに仕上げましたとの事ですが、完成迄に大変苦労したとの吉田工場長談。

(開発は大阪本社・中央研究所/東住吉区) 柘植地域にもう一カ所在る「伊賀工場」(中柘植・R25沿い)も吉田工場長が立ち



【お詫び・訂正】先月号の「俳句コーナー」吉岡好子さん作『出来たてのあををを匂ふ大茅の輪(おおちのわ)』・「茅の輪」の茅が芽と誤植されており大変失礼致しました。此の段お詫びして訂正させて頂き戴きます。

上げられた次第です。「8月28日訪問:後報」【会社概要】本社:大阪市東住吉区/非上場設立¹⁹⁷⁴「昭和49」年/資本金⁷⁰万円/売上高⁵⁷億円/従業員数⁵⁰⁵名「工場」大阪に2工場と南港物流センター/伊賀市内に5工場「柘植・伊賀・佐那具・壬生野・伊賀一之宮」と2物流センターを展開中。

7月26日(水)に3社訪問しました。
【訪問者】宮田会長、小林岩倉区長、事務局長・清水の3名にて表敬訪問。

①(株)八代・伊賀工場・大手化粧品会社、食品会社のOEM「添加物」食品油脂製造業」創業⁹³「昭和7」年/資本金1億円 本社・大阪工場・大阪市平野区加美南
「工場」大阪、伊賀、四日市、和歌山橋本

(株)八代・伊賀工場／増田 尚美 次長



② (株) トウペ・三重工場・塗料全般
接着剤合成樹脂加工剤、合成ゴム等製造
東証一部／設立⁹¹「大正4」年／資本金4億
9千万円／売上高¹⁰⁵億円 「本社」大阪府堺市
西区 「工場」三重・茨城・倉敷・福岡
【従業員数】²⁸⁵名／親会社：日本ゼオン(株)

【面談者】総務課 兼環境安全課・細見課長
(下段、右から2人目の方)



③ 伊藤精工(株)柘植工場・NC、CN
C自動旋盤、マシニングセンター、タッピ
ングセンター等にて各種精密部品製造
創業⁹⁶「昭和35」年 「本社」大阪府八尾市
「工場」八尾・柘植・タイ 「売上高」86億円
【従業員】³⁷⁶名 【面談者】伊藤・取締役会長

面談後、柘植第1・第2・第3工場の工場
見学、製造工程を案内して戴き詳細説明受
けました。各種「工作機械」が総計¹³⁰台設
置され、それらの加工光景は圧巻でした。



伊藤精工(株)玄関前にて(右から2人目が
伊藤取締役会長)

【サークル・教室紹介】第19回

子育てサロン 『まるまるの会』

代表 丸柱 真優佳

「ワタシ」が楽しもう!

まるまるの会〇〇の会。みんながやってみたい〇〇を集めて、月一回、未就学児の親子中心にイベントを開催しています。

今回は口育(こういく・0歳からお口の周りの筋肉の発達をサポートして、嘔吐、飲み込む、呼吸する。といった身体機能の正常な発達を促し、口の発達不全を防いで全身を正常な発達に導く考え方の事)を広める活動をしておられるグループ『team-icross』の歯科衛生士さんを講師に『口育ミラー作り』を行いました。ミラー作りの他にも、絵本や体操を通して親子で「口育はハミガキだけじゃない!口育はからだ全体の健康とつながっている!」と知る機会になりました。

同時に開催した『どうぞの会』ではリュース品の衣類やおもちゃなどを無料で持ち帰ってもらいました。家に眠っているものを「これ欲しかったん〜!!」と喜んでもらってもらえるのはとっても嬉しいです。

他にもこれまでに『乳幼児期から伝えたい性のお話会』『手焙煎珈琲講座』『エンカルコスメ作り』『寄せ植えリース作り』など、ママをはじめとする大人が学べ、楽

しめるテーマを考え実施しました。今年度の活動としては、定期的に『どうぞの会』を行い、11月には『親子で楽しむ☆運動あそび』を予定しています。



サロンは誰でも参加OK。一回だけの参加も、もちろんOKですので気軽に遊びに来てくださいね〜!こんなことやってみたい!という思いのある方も喋りに来てくださいね〜!

子育て中はどうしても子どものことを優先しがちですが、子どもの周りにいるママや大人がワクワクしながら、思いっきり今を生きていることが、子どものHappyにつながっていくと思います。

▲(写真奥中央が代表の丸柱真優佳さん、『つばめカフェ』も主催されています。)

みんな、今しかない時間を楽しみましょう!



大河ドラマ「どうする家康」

パブリックビューイングin伊賀

(於) 柘植地区市民センター

7月30日(日) NHK大河ドラマ「どうする家康」第29回「伊賀を越えろ」の放送
 回に際しNHK津放送局と伊賀市の企画で

パブリックビューイングが開催されました。
 午後6時45分、岡本市長の開会挨拶の後、
 7時、伊賀市教育委員会文化財課 笠井課長
 の歴史講座「家康の伊賀越えと柘植」8時
 30分、ライブ視聴。総括(振り返り)後、9時
 閉会という観覧イベント。参加者総数は、
 96名と盛況裏に終了した次第です。
 (特注自前の忍者装束姿の岡本市長)



【9月度・会議日程】

- 令和5年度第3回 「地域自治推進会議」
9月4日(月) 9時半〜支所大会議室
- 令和5年度第6回 「教育文化部会」
9月5日(火) 19時半〜市民センター
- 令和5年度第6回 「健康福祉部会」
9月6日(水) 20時〜市民センター
- 令和5年度第6回 「人権同和部会」
9月8日(金) 20時〜いがまち人権センター
- 令和5年度第6回 「まち協・役員会」
9月12日(火) 18時〜市民センター
- 令和5年度第6回 「12区連絡協議会」
9月15日(金) 18時〜市民センター

☆☆ 編集後記 ☆☆

この道や 行く人なしに 秋の暮れ
 ▼松尾芭蕉 51歳、江戸から大坂に出向き、
 結果的に人生最期の句会と為った際に詠ん
 だ辞世の句の一つ。大坂へ行った理由は、
 芭蕉の門下生二人が主導権争いを起こし、
 其の仲裁に向いたもの。然し乍ら仲裁は
 難航し、一方の弟子、濱田酒堂が失踪する
 事態に陥り、芭蕉翁は心労で体調を崩し、
 二週間後に亡くなりました。
 ▼俳諧の境地に立った芭蕉の心境は「この
 道を行く者は居ない。高みを目指して行け
 ば行く程 孤独を感じる秋の夕暮れである。」

▼今夏は世界的に猛暑・酷暑の日々が続き
 日本に於いても7月の平均気温が此の100年
 余りで最も高く為りました。
 ▼其の最大要因が「地球温暖化」人類が排
 出する温室効果ガスの75%を占める二酸化
 炭素CO₂の排出量が毎年増加しています。
 ▼主に石油・石炭・天然ガス等の化石燃料
 を燃焼させる事で大量のCO₂が大気中に
 放出され、温室効果に依る温暖化が進行。
 ▼更にエルニーニョ現象(南米沖で暖かい
 海水が海面迄上昇し、海全体に広がる事で
 海面温度が上昇する現象)に依り、大気も
 暖かく為り熱波が発生する気象メカニズム。
 ▼地球温暖化を食い止め、異常気象を抑止
 する人類の英知が試されています。(清水)